

ソロモン・栄枯盛衰

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/6/17 父の日

王 位 継 承

- ◆ 父ダビデ王は武勇に優れ、周囲の国々をことごとく屈服させ、イスラエルに平和をもたらした
- ◆ 大きな罪を犯し、主から厳しく罰せられたダビデ王は、息子ソロモンに**主に従うことの大切さ**を遺言として語った
 - ◆ 「あなたの神、主の務めを守ってその道を歩み、モーセの律法に記されているとおり、主の掟と戒めと法と定めを守れ。そうすれば、あなたは何を行っても、どこに向かっても、良い成果を上げることができる。」 列王記上2:3

知恵と栄光を賜るソロモン

- ◆ 王となったソロモンは、「主を愛し、父ダビデの授けた掟に従って歩」み、「一千頭もの焼き尽くす献げ物をささげた」
 - ◆ その夜、主が夢に現れ、「何事でも願うがよい。あなたに与えよう」と言われた
- ◆ ソロモンは民を正しく裁く力を求めた
 - ◆ 「あなたの民を正しく裁き、善と悪を判断することができるように、この僕に聞き分ける心をお与えください」3:9
- ◆ ソロモンの願いは主の思いに適ったので、主は彼に富と栄光を約束された
 - ◆ 「わたしはまた、あなたの求めなかったもの、富と栄光も与える。生涯にわたってあなたと肩を並べうる王は一人もない。」3:13

ソロモンの知恵

◆ 豊かな知恵と、広い心

- ◆ 「神はソロモンに非常に豊かな知恵と洞察力と海辺の砂浜のような広い心をお授けになった。」5:9

◆ 二人の遊女の子ども事件 3:16～28

- ◆ みごとなお裁き！

◆ シェバの女王の質問

- ◆ 「シェバの女王は主の御名によるソロモンの名声を聞き、難問をもって彼を試そうとしてやって来た。彼女はあらかじめ考えておいたすべての質問を浴びせたが、ソロモンはそのすべてに解答を与えた。王に分からない事、答えられない事は何一つなかった。」10:1-3

イスラエルの繁栄

◆ 国土の平和・安定

- ◆ 「ソロモンはティフサからガザに至るユーフラテス西方の全域とユーフラテス西方の王侯をすべて支配下に置き、国境はどこを見回しても平和であった。」5:4
- ◆ 「ユダとイスラエルの人々は海辺の砂のように数が多かった。彼らは飲み食いして楽しんでいた。」4:20

◆ 豊かさ

- ◆ 「ソロモンの歳入は金666キカル(約1000億円)」10:14
- ◆ 「ソロモンの時代には、銀は値打ちのないものと見なされていた」10:21

神殿建築

- ◆ 11年半(4年第2の月～11年第8の月)の歳月をかけ、最高の材料・技術で神殿を建立した
 - ◆ 「神殿の建築は、石切り場でよく準備された石を用いて行われたので、建築中の神殿では、槌、つるはし、その他、鉄の道具の音は全く聞こえなかった。」6:7
 - ◆ 「神殿の周囲の壁面はすべて、内側の部屋も外側の部屋も、ケルビムとなつめやしと花模様の浮き彫りが施されていた。」6:29
 - ◆ 「彼は神殿全体をその隅々まで金で覆い、内陣にある祭壇もすべて金で覆った。」6:22

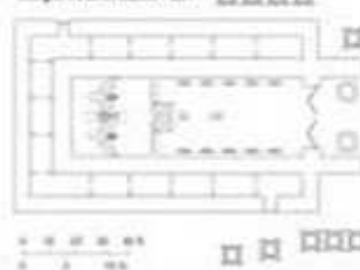
A structure with three levels was built around the walls of the temple. The lower chamber was 7.5 feet (2.3 m) wide, the middle chamber was 9 feet (2.7 m) wide, and the upper chamber was 12.5 feet (3.7 m) wide (1 Kings 6:5-6; 2, 10).

Two ornate wooden doors, overlaid with gold, separated the inner sanctuary from the nave (1 Kings 6:31-32).

The nave had ornate windows with carved frames (1 Kings 6:4).

The vestibule was 30 feet (9.1 m) wide and 15 feet (4.6 m) deep (1 Kings 6:3); cf. 2 Chron. 3:4.

Temple Architectural Plan



The hollow bronze pillar on the north was called "Bac" and the one on the south was called "Sabe" (1 Kings 7:21); cf. 2 Chron. 3:15.

Two ornate wooden, sliding doors, overlaid with gold, separated the nave from the vestibule (1 Kings 6:33-34).

The bronze altar for burnt offerings was 15 feet (4.6 m) high and 30 feet (9.1 m) long and wide (cf. 2 Chron. 4:1).

The inner sanctuary or Most Holy Place was a 20-foot (6.1 m) cube (1 Kings 6:15-20; 2 Chron. 3:8-10). Such rooms were often situated in temples of the ancient Near East. Two massive golden cherubim stood on either side of the ark, each 15 feet (4.6 m) tall with 75-foot (23 m) wingspan (1 Kings 6:23-28). The ark of the covenant stood between the two cherubim (1 Kings 8:1-11); cf. 2 Chron. 5:2-14.

The nave or Holy Place was 40 feet (12.2 m) long and 30 feet (9.1 m) wide (1 Kings 6:11, 13-16; cf. 2 Chron. 3:5-7). It contained the golden altar of incense, the golden table for the bread of the Presence, and 10 golden lampstands, five on the north and five on the south (1 Kings 7:40-46; cf. 2 Chron. 4:1).

Two bronze wheeled stands, each holding a large basin, contained water for rinsing off the ankles of priests who used for the burnt offerings (1 Kings 7:27-28; cf. 2 Chron. 4:6).

The "sea" was a metal basin 13.5 feet (4.1 m) high and 15 feet (4.6 m) in diameter. It held 12,000 gallons (44,000 liters) of water for the priests to wash in. It was supported by 12 bronze oxen in sets of three, facing in each direction (1 Kings 7:23-26; cf. 2 Chron. 4:2-5).

SOLOMON'S TEMPLE

Solomon began to build "the house of the Lord" in Jerusalem on Mount Moriah in the spring of 967 or 966 BC (1 Kings 6:1; 2 Chron. 3:1-2) and completed it seven years later, in the fall of 960 or 959 (1 Kings 6:38). The temple itself, not including the surrounding chambers on three sides, was 30 feet (9.1 m) long, 30 feet (9.1 m) wide, and 45 feet (13.7 m) high. It stood in the middle of a court with boundary walls.

ソロモンの背信

- ◆ 外国出身の妻たちによりソロモンは道を外れた
 - ◆ 「ソロモン王はファラオの娘のほかにもモアブ人、アンモン人、エドム人、シドン人、ヘト人など多くの外国の女を愛した。彼には妻たち、すなわち七百人の王妃と三百人の側室がいた。この妻たちが彼の心を迷わせた。」11:1-3
 - ◆ 「そのころ、ソロモンは、モアブ人の憎むべき神ケモシュのために、エルサレムの東の山に聖なる高台を築いた。アンモン人の憎むべき神モレクのためにもそうした。また、外国生まれの妻たちすべてのためにも同様に行ったので、彼女らは、自分たちの神々に香をたき、いけにえをささげた。」11:7-8

警告と罰

◆ 主はソロモンを戒められた

- ◆ 「ソロモンの心は迷い、イスラエルの神、主から離れたので、主は彼に対してお怒りになった。主は二度も彼に現れ、他の神々に従ってはならないと戒められたが、ソロモンは主の戒めを守らなかった。」 11:9-10

◆ イスラエルの分割

- ◆ 「そこで、主は仰せになった。「あなたがこのようにふるまい、わたしがあなたに授けた契約と掟を守らなかったゆえに、わたしはあなたから王国を裂いて取り上げ、あなたの家臣に渡す。ただし、王国全部を裂いて取り上げることはしない。わが僕ダビデのゆえに、わたしが選んだ都エルサレムのゆえに、あなたの息子に一つの部族を与える。」 11:11-13

学ぶべき真理

- ◆ 主に求めるべきものは何かよく考えること
 - ◆ お父さんは家庭を治める知恵と心を!
- ◆ 神様の祝福は添えて与えられる
- ◆ 神様には最も良い物を惜しみなく献げるべし
 - ◆ 自分の国よりもまず神の国を富ませる!
- ◆ 取り組む課題がなくなると誘惑に陥りやすい
 - ◆ 親子二代(ダビデ・ソロモン)の真理
 - ◆ お父さんは<いくつになっても>女性に注意すること!